

栄養科より

祝 56周年 創立記念日

当院は、2024年10月19日に創立56周年を迎えました。皆さまの一日も早いご回復を心よりお祈り申し上げます。

常食



きざみ食



おしながき
五目ご飯
天ぷら盛合せ
茶碗蒸し
梅肉和え
もみじ馒头

栄養価
エネルギー 583kcal
たんぱく質 23.1g
脂質 15.0g
炭水化物 86.0g
塩分 2.6g

医療法人 明和会 辻村外科病院
Smile & Harmony
明るい笑顔と調和



新入職員紹介

新しい仲間を迎えました。
よろしくお願いします。



2023年5月23日入職

医事課

片桐 穂乃華



2023年6月1日入職

看護部

四宮 洋美



2023年6月1日入職

ケアスタッフ

田口 佳澄



2023年9月1日入職

看護部

山本 麻美



2023年9月25日入職

看護部

中村 衣里



2023年9月25日入職

放射線科

今井 立春

外来診療担当案内

		月	火	水	木	金	土
外科	午前	院長 川瀬	院長 辻村(和)	院長 伊東	院長	院長 梅木	院長 浅野 谷口
	午後	院長 林	辻村(和)	院長 志村		院長 梅木 花井(第1)	
整形外科	午前	中川 兒玉	早川(和) 安藤(月2回)	中島 兒玉	中川 蔵地		鈴木
	午後	中川	兒玉	中島	中川 鈴木(智)		
脳神経外科	午前		間瀬		藤原	山田	山田
	午後		山田	山田		小嶋 加藤(月1回)	
脳卒中科	午前				橋本		
脳神経内科	午前	河野					
	午後	廣田				坂口	
循環器科	午前	服部					
	午後	高木	松脇		秋田	上床	
内科	午前		戸松				早川(伸) (隔週)
	午後		戸松		渡邊(丈)		
呼吸器科	午前			田村		松田	
	午後				相馬		
皮膚科	午前						
泌尿器科	午後		有馬			塚本	
	午前					糠谷	
	午後						

医療法人 明和会 辻村外科病院

〒448-0001 愛知県刈谷市井ヶ谷町桜島20-1
Tel(0566)36-5200 Fax(0566)36-5561
<http://tsujimurageka-hp.com/>

発行日：2024年10月29日 発行者：辻村外科病院広報委員会

つじむら

第 3 8 号

基本理念

Smile&Harmony
～明るい笑顔と調和～

基本方針

- ・いつも明るく患者様の満足を常に考え、医業に専念します。
- ・地域に働く人々及びその御家族の幸せを第一に考え、信頼される調和のとれた病院を目指します。
- ・同じロマンを持つスタッフが一丸となり得られた成果を社会に還元し、医療の質向上に努めます。

患者様には以下の権利と責任があります。

- ・個人としてその人格を尊重され、適切な医療を平等に受ける権利があります。
- ・病名、病状、予後、検査と治療の内容と危険性、薬の効果と副作用などについて十分に理解できるまで説明を受ける権利があります。
- ・治療法など自らの意思で選択する権利があります。
- ・個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。
- ・これらの権利を守るため、患者様は医療従事者と力を合わせて医療に参加、協力する責任があります。

ごあいさつ



広報誌38号発行にあたり一言ご挨拶申し上げます。病院運営にあたり日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年度は2年ごとに行われる診療報酬改定の年にあたります。通常は診療報酬の改定は4月より実施されますが、本年度は6月から実施されました。

改定が実施されまだ数ヶ月となりますが、予想通り当院のようにリハビリ機能の強化に力を入れている病院においては、従来にも増した大変厳しい結果となっております。

そのような中で新たな取り組みとして、本誌において紹介しておりますNST活動を開始致しました。詳細については本誌をご覧いただければご理解いただけると思います。

さらには、前述の活動ばかりでなく、新たな取り組みを行うべく運営体制の見直しをはかり皆様によるこんでいただける活動に取り組んでまいります。

ところで、来る10月19日は56回目の創立記念の日となります。先代の院長 辻村明が東境の地で有床診療所を開設してからゆうに半世紀を超えました。ここまで長く病院を運営することができたのも、ひとえに地域の皆様のおかげであると感謝の念に堪えません。

最後になりますが、今後も地域の皆様のお役にたてるよう職員一同さらに研鑽を重ねてまいります。皆様には今後ともよろしくご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

令和6年10月
医療法人 明和会 辻村外科病院

院長 辻村 亨

病気の説明シリーズ Vol.35

尿漏れの悩み

尿漏れ（尿失禁）とは、自分の意思とは関係なく尿が漏れてしまうことです。原因は色々あり、年齢を問わず起こる可能性があります。女性と高齢者でより多くみられます。

（監修：院長 辻村 享）

尿漏れとは？

私たちの体には、一定以上の尿が溜まると神経を通じて脳に信号が送られ、尿意を感じて排尿行動を促す仕組みが備わっています。そして脊髄、末梢神経を通して膀胱や尿道の筋肉の弛緩・収縮を促す指令が脳から伝わり排尿を行います。

尿漏れとは、意図せずに尿が漏れてしまう状態を指します。これは多くの人が経験するもので、特に高齢者や女性に多く見られますが、あらゆる年齢や性別で起こる可能性があります。

男性と女性では尿漏れの仕組みは異なります。男性の場合、前立腺肥大症の影響で尿道が狭くなり、排尿しづらくなります。女性の場合、もともと男性よりも尿道が短く尿漏れは起こりやすくなっていますが、加齢だけでなく妊娠・出産を機になる人も多いです。くしゃみや笑ったときなど腹圧がかかることにより起こる「腹圧性尿失禁」、突然尿意を感じ我慢できず漏れてしまう「切迫性尿失禁」などがあります。



- ◆**腹圧性尿失禁**（咳やくしゃみ、笑ったりするときに起こる）
骨盤底筋が弱くなっていることが原因で、圧力がかかると尿が漏れてしまう状態です。出産後の女性や高齢者によく見られます。
- ◆**切迫性尿失禁**（急に尿意が強くなり、トイレに間に合わない）
膀胱が過敏になり、尿意を感じるとすぐに排尿してしまう状態です。過活動膀胱とも呼ばれます。
- ◆**混合性尿失禁**（腹圧性と切迫性の両方が見られる）
2つのタイプの症状が同時に現れる場合があります。
- ◆**溢流性尿失禁**（尿が完全に排出されずに少しずつ漏れる）
尿が膀胱に溜まりすぎて、少しずつ漏れ出す状態です。排尿が十分にできない場合に起こります。



治療について

骨盤底筋を鍛えるトレーニングが効果的です。肛門または膣をお腹の方へ引き上げるような感覚で5秒ほど締めます。そのあと締めた筋肉を緩め、再度5秒ほど締めることを数回繰り返します。



- ◆**骨盤底筋のエクササイズ**（ケーゲル体操）
尿漏れを防ぐために有効です。骨盤底筋を鍛えることで、排尿をコントロールしやすくなります。
- ◆**生活習慣の見直し**
カフェインやアルコールを減らすことで、膀胱への刺激を軽減できます。
- ◆**薬物治療**
尿意をコントロールする薬や膀胱の筋肉をリラックスさせる薬が処方されることがあります。
- ◆**吸収パッドや尿漏れ専用パンツ**
日常生活での不便を減らすために、これらを活用することができます。

また、ほかには薬物療法や手術を行う場合もあります。当院では金曜日の午前に藤田医科大学病院の泌尿器科専門医による診察を行っています。泌尿器に関してお悩みの方はご相談ください。

NST(栄養サポートチーム)活動のご紹介

NSTとはNutrition Support Teamの頭文字をとった略称で、栄養障害の状態にある患者様や栄養障害を生じるリスクの高い患者様に対し、患者の生活の質の向上、原疾患の治療促進及び感染症等の合併症予防等を目的として、様々な医療スタッフがチームを組んで患者様の栄養管理を行うチーム医療のひとつです。

「腹が減っては戦ができません」とは言いますが、病と闘うこともまた同じことで栄養管理の重要性が注目されるようになってきました。考えてみれば当たり前のことですが、どんな薬を使っても生命維持の源であるエネルギー摂取ができれば病に打ち勝つことはできません。

当院では厚生労働省指定の研修を修了した医師、管理栄養士、看護師、薬剤師が中心となり、必要に応じて臨床検査技師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、歯科医師、歯科衛生士と協力しながら栄養療法を提案し、治療支援を行っています。



NSTにおける各職種の名目役割例

医師	病態の分析、問題点の提示、栄養療法の決定
看護師	病態把握、静脈・経腸栄養カテーテルの管理、主治医や家族への協力要請
薬剤師	輸液・栄養剤の管理保管、栄養輸液メニューの提案
管理栄養士	栄養アセスメント、栄養・食事プランの提案、栄養補助食品の検討
臨床検査技師	検査データによる栄養状態の評価、問題点の抽出及びアドバイス
言語聴覚士	嚥下評価、嚥下訓練、食事形態に関する相談
理学療法士	身体を動かし体力をつけることで食欲増進や栄養吸収の向上を目指す
作業療法士	腕や手先のリハビリによる食事の際に必要な一連の動作の訓練
歯科医師／歯科衛生士	口腔内評価、口腔ケア



多職種による情報共有



NSTカンファレンスの様子